

セミれば！  
～セミナー・イベントから見るデータ利活用最前線～

**HITACHI**  
Inspire the Next

# データ利活用セミナー

～ ビッグデータ先進テクノロジーによる新たなデータ利活用プラットフォームのご紹介 ～  
2018年12月18日(火曜) 品川・ハーモニアス・コンピテンス・センター



“ビッグデータ”や“IoT”といった言葉は、新聞・雑誌・Webサイトで見かけない日がないほど一般的になりました。客観的な数値をもとに定量的な分析に基づいた戦略の企画、実行を指向する企業が増えてきている証拠と言えるでしょう。

しかし、データ利活用には難しい点や気をつけるべきポイントが多く、新サービスや技術革新のサイクルが激しい分野でもあります。データ利活用を進めていくその前に、目頃からの情報収集が大切です。

このセミれば！（セミナーから見るデータ利活用最前線）では、セミナーのレポートを通じて、データ利活用の最新情報をお届けしていきます。

上：株式会社日立社会情報サービス マーケティングセールス部 津田による「データ利活用における取り組みのご紹介」の様子。ハーモニアス・コンピテンス・センター（東京：品川）にて。

私たちを取り巻くデータは日々増加を続けています。リアルタイムに発生する、大容量で多様なデータ。このようなビッグデータをビジネスに活用することは、一般的になりつつあります。しかし、データ量の増大に伴うデータ利活用システムのコスト増大・非構造化データへの対応・ストリームデータの取り回しなど、データ利活用への課題が大きく立ちはだかっているのが現状です。

本セミナーでは、データ利活用における国内外のトレンドをはじめとし、先進テクノロジーによる新たなデータ利活用プラットフォームをご紹介しました。

## 増加するデータは、産業競争力の源泉として価値を増している

右：10年以上にわたるデータ利活用への取り組みについて  
…産業・金融・公共・医療・製薬・ヘルスケアなど、幅広い業種に向けて、これまで300社以上のシステム構築に携わってきました。

日立社会情報サービスは、データの可視化分析のプロフェッショナルとして、産業・金融・公共・医療・製薬・ヘルスケアなど幅広い業種に向け、これまで300社以上のデータ利活用ソリューション導入に携わってきました。

近年は、より大規模なデータを、より高速に可視化するニーズが高まっています。その一方、簡単にデータを複製・移動することが困難となっていることや、従来のBI (Business Intelligence) プラットフォームによる膨大なデータの可視化・仮説検証が難しくなっているという課題があり、データ利活用の仕組みを根本的に見直す必要性が高まっています。

今回のセミナーでは、先進テクノロジーによる新しいプラットフォームのご紹介として、データ利活用に関心のある多数のお客さまにご参加いただきました。

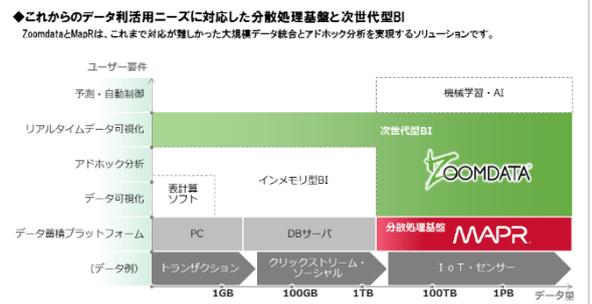


右：ユーザー要件とデータ量からみた当社ソリューションの位置付け  
…大量データに対応した新たなデータ利活用プラットフォームとして、ZoomdataとMapRをご紹介しました。

### ✓ 当日のプログラム

1. データ利活用における取り組みのご紹介  
株式会社日立社会情報サービス  
マーケティングセールス部 津田 寿
2. Hadoopのコンセプトを活かしたエンタープライズユース向け分散ファイルシステム  
マップアール・テクノロジー株式会社 朝枝 浩毅 氏
3. 大規模IoTデータの可視化・分析プラットフォーム  
Zoomdata Japan株式会社 山本 豊 氏
4. ビッグデータ利活用 ユースケースのご紹介  
株式会社日立社会情報サービス  
産業・社会ソリューション部 工藤 康

### ユーザー要件とデータ量からみた当社ソリューションの位置付け



# 先進テクノロジーによる新たなデータ利活用プラットフォーム

左：マップアール・テクノロジー株式会社 朝枝 浩毅 氏による「Hadoopのコンセプトを活かしたエンタープライズユース向け分散ファイルシステム」講演の様子。

右：Zoomdata Japan株式会社 山本 豊 氏による「大規模IoTデータの可視化・分析プラットフォーム」講演の様子。



## MapR …Hadoopのコンセプトを活かしたエンタープライズ ユース向け分散ファイルシステム

使い慣れたファイルシステム(NFS)のアクセシビリティとビッグデータ処理とを両立するHadoopディストリビューション、MapRをご紹介いただきました。

大規模ストレージとしても利用可能で、今後のデータ利活用に向けた新しい分散処理基盤の導入がグローバルで進んでいます。

当日は、MapR独自のアーキテクチャから、グローバルの導入事例まで、幅広い内容でご紹介いただきました。



## Zoomdata …大規模IoTデータの可視化・分析プラットフォーム

ビッグデータ先進テクノロジーによる新しいビジネスインテリジェンス、Zoomdataをご紹介いただきました。

細分化したクエリーを用いて効率的にデータベースへ直接アクセスし即時可視化するZoomdata独自技術についてご紹介いただき、また、データ接続やアーキテクチャを中心に、導入時の検証における具体的なポイントについて説明いただきました。

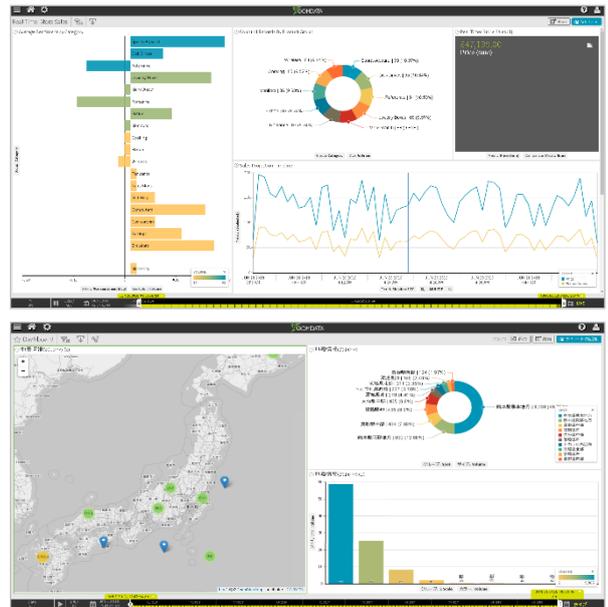
グローバルでは既にさまざまな業種で活用されており、豊富な事例・ユースケースもご紹介いただきました。

左：株式会社日立社会情報サービス産業・社会ソリューション部 工藤による「ビッグデータ利活用 ユースケースのご紹介」の様子。

右上：全米に展開する総合量販店の販売データ 100億レコードを Hadoop に格納し、SQLクエリエンジン impala へ接続して可視化したデモ。



右下：データベースに格納したオープンデータを参照してチャートの作成と操作を行ったデモ。データは気象庁「震度データベース検索」(https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php)より抜粋したものだ。



## これからのデータ利活用

増え続ける構造化データ・非構造化データに対するアドホックな分析・リアルタイムデータへの対応と、将来的なAI活用を視野に入れた、スケーラブルなデータレイクによるデータ利活用の必要性が高まっています。企業経営においてデータの活用は前提となりつつあり、あらゆる業務で「付加価値の向上」「業務効率化」に向けた取り組みが行われています。

当社は、10年以上にわたり培ってきたデータ利活用ノウハウを生かし、お客さまのデータ利活用を強力にご支援します。

— 今後も、さまざまな切り口でセミナーを開催してまいります。  
次回のご来場をお待ちしております。

Zoomdata紹介ページはこちらから。  
<http://www.hitachi-sis.co.jp/zoomdata/>

イベント・セミナーに関する情報は、当社ホームページからご覧いただけます。  
<http://www.hitachi-sis.co.jp/events/index.html>

ご質問などございましたら、当社営業もしくはお問い合わせフォームまで、お気軽にお問い合わせください。  
<http://www.hitachi-sis.co.jp/contactus/index.html>

お問い合わせ・ご相談は、株式会社日立社会情報サービスまで

\* 記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。  
\* 本カタログの内容は、2019年1月現在のものです。